

西部のたより

第197号

発行日 令和3年9月20日
 発行者 福野西部地区協議会
 編集 福野西部交流センター
 電話・Fax 0763-22-5759
 メールアドレス seibu.kmn@gmail.com

夜高行燈とミニ行燈の展示

== 練り廻しはできなくても ==

今年もコロナ禍で地区内練り廻しができませんでしたが、行燈行事を継続しようと、寿会と絵手紙教室会員そして消防団員の皆さんの協力により行燈を作り上げ、展示することができました。

西部地区の子どもたちにも、自宅で作ったミニ行燈を交流センターに持ち寄ってもらい、夜高行燈と併せて展示しました。

交流センター前駐車場で6月12日(土)・13日(日)の両日、午前9時から午後8時まで展示を行いました。夜間は午後6時30分から行燈に灯りがともり、暗闇に浮かび上がった行燈に来場者は見とれていました。

早くコロナ禍が収束し、夜高行燈の練り廻しができて、子供たちの元気な「ヨイヤサ～」のかけ声が聞きたいものです。



ミニ行燈も一緒に展示



消防団による台締め



絵手紙教室会員による色付け



灯りがともった夜高行燈

さつまいも苗の植え付け

5月29日(土) 午前10時頃から、コロナ感染に配慮しながら、PTA役員、行事関係者、少数の子どもたちで約300本の苗の植え付けを行いました。

場所は、西部交流センター前にある、高野幸雄さん所有の畑の一部を借りて行いました。畑は、事前に高野さんに畝作りをして

いただき、西部交流センター職員で黒のシート掛け作業を行いました。

当日は天候にも恵まれ、1時間ほどで作業は終了しました。収穫は10月17日(日)の予定です。



県花のまちづくりコンクール 花の道部門最優秀賞 受賞

桐木花と緑の推進協議会・梅ヶ島フラワー街路の会

さる8月20日、富山県花と緑の銀行主催の「第48回富山県花のまちづくりコンクール」の発表が有り、「花の道部門」では桐木花と緑の推進協議会(会長 丹羽善雄)が最優秀賞を、また「プレミアム花壇の部」で梅ヶ島フラワー街路の会(会長 石渡久子)が優秀賞を受賞されました。

「桐木花街道」は、教応寺の前を南方向に延びている道路の西側路側帯に約150mにわたり花が植えられています。花壇の管理は集落の人々の協力を得て行っていますが、日常は水木悦子さんが主体となって管理されています。

「梅ヶ島フラワー街路の会」の花壇は梅ヶ島公民館前を西方向に延びる県道の北側路側帯に約100m作られています。花壇作りなど大きな作業は集落全体で行っています。

西部地区では他にも、前田、下吉江、田尻、新邸等の集落花壇が作られています。また布袋農村公園の一角や、フェンス添いにも花壇が作られ、西部の花と緑の銀行の会員と有志の方により管理されています。

コロナ禍でおでかけが制限されているなか、地区内の花壇を巡ってみてはいかがでしょうか。



桐木



梅ヶ島



布袋農村公園



前田



田尻



下吉江



新邸

南砺市環境保健協議会

環境衛生部門 団体表彰 受賞！！

ほのぼのたじりサロン



5月31日に南砺市環境保健協議会より、福野西部地区「ほのぼのたじりサロン」（代表 金田淑子）が環境衛生部門の団体表彰を受けられました。

「ほのぼのたじりサロン」は、高齢者交流サロン活動の一環として長年にわたり会員一致協力し、田尻地区内4箇所の花壇整備、維持管理に取り組み、地域の環境美化に貢献したことが認められたものです。



＜ 地域のみなさんのために 西部寿会 ＞

西部寿会（会長 堅田忠明）では、地区の中心となっている布袋農村公園を皆さんが気持ちよく使えるようにと毎年草刈りを行っています。

1回目は5月16日（日）午前7時から、30名もの参加を得て行いました。当日は雨天で、参加者は皆雨具を着ての草刈りとなりました。20台もの草刈機がエンジン音を響かせて草を刈っている様子は、壮観でした。今年から、草刈りの安全のため、傷害保険をかけて行っています。

2回目は7月31日（土）の暑い時期であったことから午前6時から行いました。1回目と同じ30名もの参加を得ての草刈りとなり、暑い中でしたが、大勢の参加があったおかげで、1時間余りで終わることができました。

3回目は9月11日（土）に行ないました。

西部寿会では、コロナ禍のために、行事を縮小して行っていますが、布袋農村公園の草刈りは、密にならないことや、屋外での作業であることから、予定通り行っています。



雨降る中、皆さん雨具を着て



作業開始前の挨拶



【私のつぶやき】(23)

「テレビ三昧の夏」

小森 典(晩田)

この暑い夏は東京オリンピックが開催されていたことから、居間にエアコンをつけて閉じこもり、テレビを見ることに没頭してしまいました。複数のチャンネルで様々な競技が放送され、日本人選手が出場する場面を探してリモコンをカチャカチャ。昔のダイヤル式チャンネルのテレビでは壊れていたと思うくらいじって見ていた。

スケートボードやサーフィン、自転車競技などこれまであまり関心のなかった競技も見ているうちに面白くなって見入っていた。ニュースで流れた名場面も、その前後を通してのライブ観戦は心躍るものがあり、観客がいて大歓声に加わっていたら、もっと感動したはずだ。

オリンピック放送の一方で残念だったのは、米国大リーグで今大活躍を続けている大谷翔平選手の試合が衛星放送で中継されなくなったこと。スポーツニュースでの扱いもこの期間は少なく短い。今期、大谷選手はホームランの首位争いをしており、今もその一打席一打が気になってしょうがない。結果のわかっている録画放送やニュースで見るより、ライブでその活躍の瞬間があるかないかをワクワクしながら見るのが楽しい。

スポーツの観戦に夢中となることで精神的には健康になった気がするが、肉体的にはソファでゴロゴロしっぱなしで間違いなく運動不足。このような「怠惰の極み」の毎日を過ごしているとフレイル(虚弱)という状態に陥ると自分を戒める、今夏である。

おめでとうございます!!

福野中学校吹奏楽部

中部日本吹奏楽コンクール本大会

・東日本吹奏楽大会 出場

♪♪ 西部地区から6名出場 ♪♪

福野中学校吹奏楽部は、第64回中部日本吹奏楽コンクール本大会に富山県代表として、第21回東日本吹奏楽大会には北陸代表としての出場が決まりました。

西部地区から笹嶋日香里さん(三ツ屋)、高野鈴奈さん(晩田)、

田中莉央さん(下吉江)、
早川明華里さん(下吉江)、
小中夢来さん(下吉江)、
水木一花さん(桐木)の6
名が出場されます。

西部地区協議会では、
出場をお祝いして激励の
懸垂幕を作成し、交流セ
ンター前に掲げました。



交流センターからの お知らせ

(予定行事は詳細が決まり次第、
あらためてお知らせします)

- ・自主防災訓練 7月 4日(日) 中止
- ・夏のつどい
(旧盆踊り) 8月 1日(日) 中止
- ・運動会 9月26日(日) 中止

☆令和3年度 西部地区文化祭

・敬老会

※新型コロナウイルス感染拡大防
止のため内容を縮小して開催予
定です。

日時：10月31日(日)

文化祭 9:00～

敬老会 13:30～

場所：アクティブ東石黒

☆しめ縄・門松

・餅つき大会

日時：12月下旬予定

場所：西部交流センター

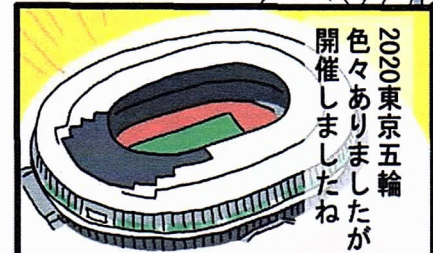
「平和の塔」例祭 慰霊と平和を祈願



7月30
日(金)午後
6時から、
「平和の塔」
前にて、祭司

に渡貫宮司(寺家)を迎えて例祭が執り行われました。遺族会の方々や水木西部地区協議会長、石川市議会議員、各区長、地区住民が参列し、御霊の鎮魂と恒久平和を祈願されました。

この「平和の塔」には、西南戦争(明治10年)の戦没者をはじめ、日露、日中、太平洋戦争等の戦没者60余名の御霊が祀られています。



2020東京五輪
色々ありましたが
開催しましたね



今回から
種目に入った
空手に注目!



形がとても美しく
格好良かったです!
スベインの方
目がさすところ



皆さんも気になった
スポーツ情報を
見ましたか?

我が家のアイドル

林 月花 (はやし つか) 3歳8カ月



抹茶大好き、プー
ル大好き、鉄棒大
好き、元気いっぱい!!!
これからも、いろ
んなことにチャレ
ンジしよう!

父 太伊知
母 寿美礼(三ツ屋)

色紙



[クレマチス]
南 真利子
(三ツ屋)

活花



[古流]
高野 光子
(布袋)

俳句

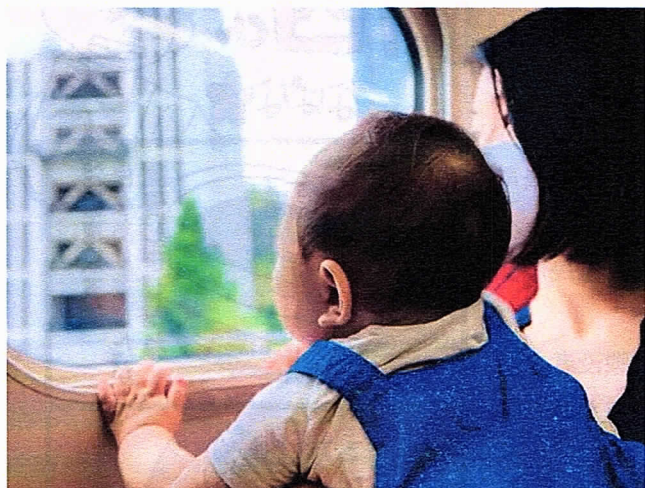
趣味のコーナー

独り酌む大吟醸や冷奴
葉隠れの胡瓜ジャンボとなりけり
今井淳良
虫の音や眠れぬ夜の子守唄
仏壇の明り消さずにおくお盆
堀 英子

【西部のこの人】(21)

ふるさと

蓼口 恵美(田尻出身)



「地方に住みながら、テレワークで都心の仕事をする」そんな事ができるのだろうか?と、コロナ禍前だったら、夢物語だと思われていた暮らし方が、今、多くの人にとって身近になりつつあります。

私は、富山県南砺市田尻で生まれた農家の長女です。昔から、田尻神社で木登りをしたり、田んぼでアメンボを捕まえたり自然の中で過ごすことが大好きでした。

しかし東京の大学に進学した後は、やりたい仕事と一緒に働きたい仲間がいる東京に残ることを決意しました。そして、ふるさととは、お盆や正月、田

植えや稲刈りの時期に帰ってくる「帰省の場所」になっていました。

しかし、2020年から私の会社は「全社テレワーク導入」を発表。私は、コロナが収まっても、ずっと出社する必要がない働き方が選択できるようになりました。(コロナの状況によっては移動できないことも多くありますが) わたしは、2ヶ月に1度、数週間は、ふるさと富山で暮らしながら、東京の仕事ができるようになりました。私生活では、祖父母や両親と多くの時間を過ごせるようになりました。また、ふるさとの知り合いも増えたことから、私は今、富山県南砺市(旧井波)に拠点を置く、一般社団法人ジソウラボというチームで、地域起業家を応援する活動を行うことができます。開始してわずか1年ですが、「#脱東京」の追い風もあって、すでに3名以上の若者が井波に移住しパン屋さんなどの事業を始めています。

西部地区には、豊かな田園がひろがり、初夏にはホテルが飛び交う美しい河川があります。

コロナの状況が落ち着いた先の未来に、自然豊かな田舎で、子育てをしたい、暮らしたいという若者が、地方からテレワークで世界とつながり仕事できるようになることで、改めて「ふるさと」という場所に出会えたらいいなと考えています。先が見えない時代だからこそ、顔が見えるご近所さんと助け合い、自然と共存のびのびと暮らしていくことを選ぶ人は増えていくと思います。令和時代の新しい暮らし方はまだ始まったばかり。変わらずにある広い空に感謝しながら、「変わっていく社会」に、前向きに向き合っていきたい、そんなことを考えています。

編集後記

コロナウイルス感染が止まらない。

ワクチン接種が希望者全員にいきわたり収束の期待をしていた矢先、「デルタ」というコロナ変異株の発生により、この7月から8月にかけて感染者が日々増加。お盆の人流から増えるとは思っていたが、富山県で感染者100人超えが続くとは……。県独自の警戒レベルは昨年の5月以来のステージ3に引き上げられ、まん延防止等重点措置まででた。

地区の行事や活動も再び中止や延期、縮小により制限せざるをえなくなり、「西部のたより」にも賑わいの記事がない。

南砺市のワクチン接種は年代別に順次予定どおり進行しており、10月末若しくは11月上旬には希望者全員が接種を終えるようだ。これで感染が沈静化してこれまでの日常に戻ることを期待してやまない。